

広報

はちおうじの教育

1.15

2019(平成31年)
No.97

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばたけ未来へ～

いつでも、
どこでも、
親子で話そう

公園のベンチに座り、会話がはずむ親子。普段からいつでも、どこでも気軽に話せる関係をつくるのが大切です。家では話しにくいことでも、時間や場所を変えれば話せることも。親子でゆっくり話をしてみませんか。

八王子市の電話相談

保護者の皆さん

総合教育相談室 ☎664・6949

小・中学生の皆さん

こども電話相談 ☎664・3665

子どものいじめに関すること

子どものいじめ相談電話 ☎620・7499

受付時間 月～金曜日(祝・休日を除く)午前8時30分～午後5時

24時間東京都いじめ相談ホットライン

☎0120・53・8288

24時間子供SOSダイヤル

☎0120・0・78310

なやみ言おう

メロディーが聞こえたら
子どもたちの見守りにご協力を

子どもたちの下校を見守るきっかけづくりとして、松任谷由美さんの「守ってあげたい」を午後2時に防災行政無線で放送しています。

困ったときの相談

●子どものネット・携帯のトラブル相談

こたエール

<https://www.tokyohelpdesk.jp/>

こたエール

検索



メール相談は、こたエールのホームページで24時間受け付けています。ホームページはこちらの二次元コードからご覧ください。

フリーダイヤル ☎0120・1・78302

■月～金曜日 午前9時～午後6時
■土曜日 午前9時～午後5時 ※祝日を除く。

●SNSについて考える8つのストーリーや心の状態がチェックできるアプリなどを紹介する情報サイト

考えよう！いじめ・SNS@Tokyo

<http://ijime.metro.tokyo.jp/>

考えよう いじめ SNS

検索



ホームページはこちらの二次元コードからご覧ください。

—— 1ページにも電話の相談機関を掲載しています。 ——

いじめ問題への緊急対策

市ではこれまでのいじめへの認識や、いじめ問題に対する学校の体制・姿勢を見直し、いじめ問題への対応策を再構築していきます。

■いじめの認知への感度を高める

全教職員がいじめへの認識を抜本的に改め、いじめの認知への感度を高める。

■いじめの早期発見・早期対応

子ども一人ひとりに、相談できる大人が一人以上いるようにするために、全教職員がいつでも相談に応じる体制を構築し、いじめの早期発見・早期対応を図る。

■児童・生徒の状況把握

小学5年生・中学2年生を対象に「楽しい学校生活を送るためのアンケート」を毎年2回実施し、児童・生徒の状況を継続的に把握する。

■全教育課程を通じていじめ問題への対応策を構築

SOSの出し方に関する教育の推進など、いじめ問題への具体的な対応策を各学校の全教育課程を通じて構築する。

■生命尊重を重視した指導の徹底

生命の大切さやいじめは絶対に許されないということを徹底するため、道徳の時間や特別活動などにおける指導をさらに工夫・改善するなど、子どもたちへの心の教育を充実させる。

■家庭と連携した適切なSNS利用の徹底

小・中学校PTA連合会とともに、保護者に対してSNS利用の注意事項を再周知し、家庭と連携し、子どもたちの適切なSNSの利用を徹底する。

■運動部活動の適正な実施

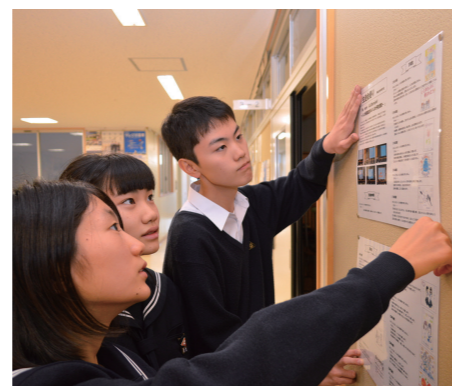
中学校における運動部活動が適切に実施できるよう、中学校体育連盟と緊密な連携を図る。

自ら行動できるように

いじめ問題を解決するには、子どもたちがいじめを自分たちの問題として主体的に考え、話し合い、行動することが重要です。

松が谷小学校では、いじめ防止解決策について話し合いました。友だちにされて嫌だったことを発表し合うことや、一人で悩みを抱えないように「悩み解決ボックス」を設置するなど、具体的な方法を提案しました。また、第五中学校では、「No more いじめ project」を実施。クラスごとにいじめ撲滅のための宣言文とポスターを作成しました。生徒会では生徒会だよりにプロジェクトの取り組みを掲載して「いじめ撲滅」を周知。生徒自らが行動し、いじめ防止への意識を高めています。

今後小・中学校では、子どもたちがいじめ問題の解決に向け主体的に行動できる力を育む教育を推進していきます。



生徒会だよりでいじめ撲滅を周知



友だちが悩んでいたらどうしたらよいかを考えて

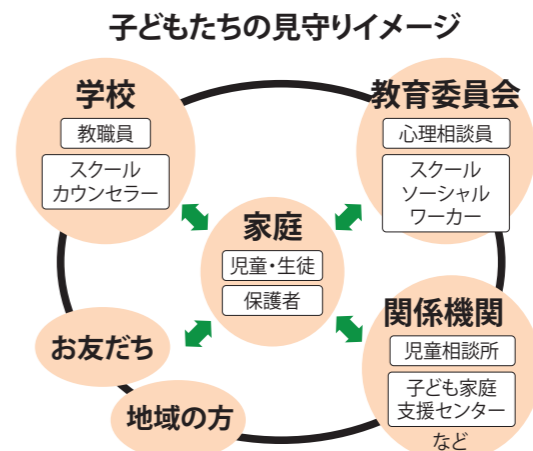
子どもは自分の気持ちを言葉で表現する力が十分に育っていませんが、体調や行動の変化などに気持ちが表れることがあります。保護者や教員、地域の方など、身近な大人が日頃から子どもを見守り、小さな変化に気づくことが大切です。子どもの気持ちに寄り添って「いつも見守っているよ」という思いが伝わると、心の支えにつながります。

子どもにとって身近な学校には、教員のほかにスクールカウンセラーが週に1日在校しています。また、総合教育相談室では、心理相談員がいじめや不登校などの相談に対応。不登校の子どもには、学校の要請でスクールソーシャルワーカーが学校とともに登校に向けた支援をします。問い合わせは教育支援課 ☎664・5124、☎662・2988へ。



心理相談員（臨床心理士）
青木 貴美奈さん

どんなに小さなことでも気になることや悩みがあれば、遠慮なくご相談ください。



そのSOS、見逃さないで

子どもの気持ちに寄り添って

いじめや孤立、友だちのことなど、悩みや不安を誰にも相談できずにいる子どもたちは少なくありません。子どもたちの悩みや不安は普段の生活の中でSOSとして表れているかも。ささいなことでも気になることがあったら声をかけたり、相談ののりたりしてあげてください。

指導課 ☎620・7405、☎627・8811

地域の方、お友だち

- 登校時間が遅くなった。
- 表情がさえず、ふさぎ込んで元気がない。
- 突然あいさつをしなくなった。
- 視線をそらし、合わそつとしない。
- 長い休み明けに急に元気がなくなった。
- 友だちの荷物を持たされている。
- 遊びの中で常に嫌な役割を担わされている。
- 笑われたり冷やかされたりしている。
- 子どもたちの会話に入れず、仲間外れにされている。

家族の方

- 朝になると体の具合が悪いと言っている。
- 学校を休みたがる。
- 遅刻や早退が増えた。
- 笑顔がなくなっている。
- 感情の起伏が激しい。
- 家族との会話を避けるようになった。
- 学校や友だちの話題が減った。
- 長い休み明けに学校に行きたがらない。
- 勉強しなくなる。集中力がない。
- 自分の部屋に閉じこもる時間が増えた。
- 電話やメールの着信音におびえる。
- シャツやズボンが汚れたり、破けたりしている。
- 持ち物がなくなったり、壊れたりするようになった。
- 教科書やノートに落書きがある。
- 家からお金を持ち出したり、必要以上のお金を欲しがったりする。
- 友だちの家に遊びに行かなくなった。
- 体に原因不明の傷などがある。

あれ、もしかして？と思ったら、学校や相談機関へ！



元オリンピック選手から速く走れる
 コツを伝授してもらったよ!



アテネオリンピック陸上競技リレー代表選手の伊藤友広さんが
 講師に（横山第一小学校で）

実業団のコーチと一緒に長距離走の
 練習をしたよ!

はちおうじの オリンピック・ パラリンピック教育

市立小・中学校では、オリンピック・パラリンピック教育の一環として、アスリートなどを講師に招いてスポーツ教室を実施しています。

問い合わせ 指導課(☎620・7405、☎627・8811)



コニカミノルタ陸上競技部の小澤希久雄コーチと（加住小中学校で）

教育委員会からのお知らせ

5回の会議を開催

平成30年10月から12月まで定例会を5回開催しました。主な内容をお知らせします。

【議案】

○第3次八王子市教育振興基本計画策定検討会参加者の選任について

【協議事項】

○家庭教育啓発リーフレットの見直しについて

【報告事項】

○「オリンピックによる柔道教室」の実施結果について

○通学路緊急合同点検の結果について

○東京八王子ビートトレインズ選手が選んだ「イチオシ本」について

定例会は、公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。また、定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。問い合わせは教育総務課(☎620・7323、☎627・8811)へ。

今後の定例会開催日程(予定)

| 日時 | 会場 |
|----------------------|--------|
| 1月16日(水) 午前9時30分～ | 市役所本庁舎 |
| 2月2日(土) 午後2時～ | 教育センター |
| 2月15日(金) 午前9時30分～ | 市役所本庁舎 |



子どもたちの感性豊かな作品を一堂に

八王子市立小中学校合同作品展 おおるり展

日時 1月17～21日の午前10時～午後8時(21日は午後3時30分まで)
 会場 エスフォルタアリーナ八王子
 問い合わせ 指導課(☎620・7405、☎627・8811)

「はちおうじっ子ホームページ」で子ども向けに情報を発信しています。



こちらから
 ご利用を